

## 地方行政サービス改革の取組状況等(平成30年4月1日現在)

自治体コード	都道府県名	市区町村名	類似団体区分
082228	茨城県	鹿嶋市	都市 II-2

(1)民間委託				【参考】	
		今後の対応方針【直営(※)を選択した団体のみ回答】		類似団体委託率	全国(市区町村)委託率
本庁舎の清掃	直営(※)			100.0%	99.7%
本庁舎の夜間警備				100.0%	98.6%
案内・受付				91.8%	91.2%
電話交換				93.5%	94.2%
公用車運転				90.1%	88.1%
し尿収集				95.7%	97.9%
一般ごみ収集				96.4%	96.9%
学校給食(調理)				73.3%	68.3%
学校給食(運搬)				94.8%	91.2%
学校用務員事務				32.3%	35.1%
水道メーター検針				100.0%	99.1%
道路維持補修・清掃等				100.0%	96.9%
ホームヘルパー派遣				100.0%	98.8%
在宅配食サービス				100.0%	99.9%
情報処理・社内情報システム維持				100.0%	99.5%
ホームページ作成・運営				97.1%	97.7%
調査・集計				94.9%	96.2%

※平成30年4月1日現在において、直営で専任職員を置いている団体

(2)指定管理者制度等の導入				【参考】			
公の施設数	制度導入施設数	導入率	前年度以降、導入が進んでいない理由	自治体職員常駐施設数	自治体職員を常駐で配置している事に対する考え方	類似団体委託率	全国(市区町村)委託率
体育館	2	100.0%		0		58.3%	39.2%
競技場(野球場、サッカーコート等)	10	100.0%		0		58.5%	46.9%
プール	1	100.0%		0		69.1%	49.1%
海水浴場	0	0		0		26.7%	13.2%
宿泊休業施設(ホテル、宿泊施設等)	0	0		0		84.5%	87.8%
休業施設(飲食店等、湯・山の営業)	0	0		0		84.3%	76.3%
キャンプ場等	0	0		0		100.0%	58.7%
産業情報提供施設	0	0		0		64.6%	74.1%
展示場施設、見本市施設	0	0		0		70.0%	63.6%
開放型研究施設等	0	0		0		87.5%	46.5%
大規模公園	2	100.0%		0		49.0%	41.7%
公営住宅	5	0	低所得者に対し、安定した生活とゆめやかな行政サービスが必要であり、適宜で運営すべき施設であるため。	0		8.8%	13.8%
駐車場	1	100.0%		0		32.2%	38.0%
大規模霊園、斎場等	2	0	施設管理、清掃業務など、単行の個別業務委託を一括して管理運営するための組織整備が必要となるため。	1	業務の特殊性が高、住民情報を持つことから非常勤職員を委託しています。	25.9%	22.0%
図書館	2	0	図書資料を永続的に保障・保管するため。	2	市の教育政策の一環として、市内各小中学校への学校図書館の設置並びに書庫の配置を行い、中央図書館と連携し、図書館連携運営を行うため、常駐配置することとしています。	17.2%	18.4%
博物館(歴史館、民俗館、自然館等)	0	0		0		28.8%	28.0%
公民館、市民会館	11	0	市民活動の拠点として当該施設が直接管理することとしているため。	11	公民館を市民活動の拠点として位置付けていることから、職員を常駐で配置することとしています。	27.8%	22.2%
文化会館	1	100.0%		0		56.6%	51.1%
合宿所、研修所等(青少年の受入れ等)	0	0		0		50.0%	48.2%
特別養護老人ホーム	1	100.0%		0		100.0%	74.2%
介護支援センター	0	0		0		43.1%	50.5%
福祉・保健センター	4	2	50.0%	2	市民の健康づくりの拠点として、また利用者への影響を考慮し、直営で運営すべきであるとしているため。	53.5%	53.6%
児童クラブ、学童館等	12	0	0.0%	0	児童クラブを主体に直営すべき施設として整理しているため。	22.5%	22.7%

### (3)窓口業務

<b>総合窓口の設置</b>	<b>設置状況</b>	設置済	→	予定時期	-
	<b>窓口業務の民間委託委託状況</b>				委託予定無し

BPRの手法を用いた業務分析

<b>取組状況</b>	→	業務改革効果	→	→	→
-------------	---	--------	---	---	---

類似団体			
設置率	委託率	実施率	委託率
15.6%	24.4%	11.9%	22.4%

### (4)庶務業務の集約化

<b>実施状況</b>	<b>委託状況</b>	<b>対象部局</b>	<b>対象業務</b>
実施予定無し	委託予定無し	首長部局   企業局   教育委員会   その他   給与   旅費   福利厚生   財務会計	

【参考】類似団体 実施率 43.3% 委託率 2.2% 全国(市区町村) 実施率 27.2% 委託率 2.6%

[実施予定無し]及び[首長部局未設置]団体は「未実施の理由」で、「実施予定あり」の団体は「実施予定時期」を記載してください。【人口が5万人未満の団体は回答不要】

BPRの手法を用いた業務分析

<b>取組状況</b>	→	業務改革効果	→	→	→
-------------	---	--------	---	---	---

### (5)自治体情報システムのクラウド化

<b>実施済</b>	○	<b>実施時期</b>	自治体クラウド 平成22年度
<b>実施予定</b>		<b>実施予定時期</b>	
<b>検討中</b>		<b>検討状況</b>	
<b>未実施</b>		<b>実施しない理由</b>	

実施率(類似団体)	
自治体クラウド	単独クラウド
22.2%	33.3%
全国	
自治体クラウド	単独クラウド
23.6%	38.3%

### (6)公共施設等総合管理計画

<b>策定済</b>	○	<b>策定予定</b>	→	<b>策定予定時期</b>	→
------------	---	-------------	---	---------------	---

類似団体	
策定割合	策定割合
100.0%	99.6%

### (7)地方公会計の整備

<b>統一的な基準による財務書類の作成済</b>	○	<b>作成予定</b>	→	<b>作成完了予定年度</b>	→
--------------------------	---	-------------	---	-----------------	---

類似団体	
作成割合	作成割合
93.3%	82.8%

(注1)統一的な基準による地方公会計については、原則として平成27年度から平成29年度までの3年間で整備するように要請されているが、当該調査の基準日はその初年度の開始時点である。

(注2)「作成済」の※印は、平成29年度決算から取引の都度、伝票単位ごとに仕訳を行う方法(日々仕訳)により平成30年度中に財務書類の作成を行う団体